

子ども総合センターだより

あした

明日もしあわせ通信 (第62号) 令和3年8月号

(社会にとっても)まされる宝 子にしかめやも

日本では少子化が進行しており、子どもの数が減っているという事実は未来の社会のあらゆる面に暗い影を落としています。ニュースでよくみるのは年金問題とか産業の人手不足などですが、集団の世代交代が進まない現象は緩慢な死にほかならず、その集団にとって致命的です。

日本では趣味集団は多岐にわたっており、野球やサッカーのように若年層の競技人口に心配のない大規模集団もありますが、中には「そんなのがあるの?」と驚くようなマイナー(失礼)な集団にとっては死活問題となります。

私は趣味として学生時代から長唄(邦楽の種類はわかりにくいのですが小唄とは違います 笑)をやっていました。



東京ではそれなりに若い世代もいたのですが、愛媛に帰ってきて再開すると私が最年少でした。その後もずっと最年少だったということは、私より若い人が一人も入ってこなかったのです。

年配の方は若い人と比較して活動年数がどうしても短いので、若い人でなければ有効な長命化ができません。一方、齢を重ねられた方は徐々にお辞めになりますので集団の人数は次第に減っていきます。

もちろん子ども一人一人の幸せが一番大事ですが、総数としても子どもが増えてほしい。そうすれば幸せの総量も増えるはず。小学校の運動場いっぱい子どもが広がり、ラジオ体操をしている懐かしい風景を知っている世代として、そう願わずにはいられません。(T.K)

～はばたき教室(学校に行きにくい子の学びの教室)～

～ 自分の居場所を見つけませんか? ～

はばたき教室では1学期、午前中は学習、午後からは手話教室やスポーツ、ものづくり、調理実習などの体験活動を行いました。体験活動で身に付けた力は、確実に子どもたちの自信となって行動に出ています。

はばたき教室は、子どもたちがこの場所で少し休んでこれからの自分を考え、一歩ずつ自分の力で進んでいけるように支援している所です。そんな居場所づくりを目指して活動している教室の一学期の様子を紹介します。



手話教室



毎日の学習時間



スポーツタイム



ジャガイモ掘り



タブレット学習



郊外学習(双海へ)

はばたき教室への相談

TEL 089-989-5022

携帯 080-2974-4581

令和3年度から 利用者支援事業を開始しています！

子育て中の「こまったな！」「どうすればいいの？」を
地域子育て支援コーディネーターに相談してみませんか

子どもの
気になることが...

近くに頼れる人
がいない

どこに何を相談
したらいいかわ
からない...

子育てに疲れて
「イライラ」話
を聞いてほしい

どんな子育てサー
ビスが利用できる
のか知りたい

こんなときは
まかせてね！

★相談内容に応じた子育てサービスを紹介し、
必要な機関に繋がります。
地域子育て支援コーディネーターが紹介先に
同行することも可能です。

地域子育て支援コーディネーターとは？

お気軽にご相談くださいね！

「ちょっと話してみませんか？」

地域子育て支援コーディネーターは、身近な場所で子育て期のいろいろな悩みごとや困りごと等について、「なぜその悩みが生じているのか」「それなら今後どうしたらいいか」ということを相談者と一緒に考え皆様の生活に寄り添っていく役割を担っています。

必要な情報を調べ提案したり、適切な専門機関を紹介したりしながら、皆様の気持ちに寄り添いながら相談支援を実施していきます。

伊予市のホームページでもご案内しています。ぜひご活用ください。

センター長のつぶやき

6月の花嫁

先日、娘から結婚式で読むはずだった「父への手紙」が送られてきた。式で読まれていたら涙が枯れたに違いない。去年の4月に挙式を決め、皆から出席の連絡がそろい始めた頃、新型コロナがやってきた。なんとか9月の延期にこぎつけることができた。

しかしそんなに甘くはない。コロナは猛威を振るった。

再延長は無理との返事に、必死の懇願で今年の1月までの回答を得た。

しかし、1月多額のキャンセル料を払うこととなった。

考えを巡らせていたが結局全国から友達を横浜に呼ぶことなどできない。祖母がもし重篤にでもなったら取り返しがつかない。などの思いから、娘たちは中止の判断をくださった。なんとも言えない切なさもあったが、二人の判断を尊重した。

6月2日入籍。父と同じような経験をした二人だが、幸せな家庭を築いてほしい。いつか孫たちにも、この子たちにしたように、いっぱいキャンプやスキーなど連れて行ってあげたい。それがGのささやかな夢である。(DOIG)



<巡回発達相談>

親に可愛がられて育つ

「愛着障害」という本を読んだ。子どもは、愛着をもって育ててくれる家庭という『安全基地』があると、安心して探索活動を行い、認知的・行動的・社会的発達を遂げる。愛着はあらゆる発達の土台である・・・とあった。安定して愛着を受けた子どもは、自分一人では手に負えない問題に対して、助けを求めたり相談したりすることがスムーズにできる。親から肯定してもらえて勇気や支援を与えられると、自分のためにも、また親を喜ばすためにも頑張ろうと思う。しかし、親から否定され放任された子は、頑張ろうとする気持ちを持ちにくく、甘えたい気持ちを我慢したり反抗したりする。

愛着形成の大切な時期は、生後6か月から1歳半。どの子もたっぷり愛されて育ちますように・・・。お子さんの幸せのためにいっぱい抱っこしてあげましょう。(K)

伊予市子ども総合センター

伊予市尾崎3-1

伊予市総合保健福祉センター2階

(電話) 089-989-6226

